

業科目〔基礎ゼミ(1年生前期・後期／演習科目)〕

到達目標	基礎ゼミⅠ、Ⅱの主な到達目標は以下の通りである。 ①クラスメイトとコミュニケーションを図ることができる。 ②学科行事の準備に伴うグループメンバーとの共同作業を通して、保育者に必要なチームワークの図り方、子どもの遊び場提供の企画・運営の実践力を身につけることができる。 ③学科行事の準備や運営に参加することで、現場実習に臨むための姿勢や意識を身につけることができる。
------	---

	内容・項目	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
知識・意識	大学生生活に関する社会資源の活用	教員や学生同士、図書館や各種サポート機関、学生GPなどの制度等、大学に関する様々な社会資源の存在やその機能を正確に理解し、必要に応じて活用することができる。	教員や学生同士、図書館や各種サポート機関、学生GPなどの制度等、大学に関する様々な社会資源の存在やその機能に理解することはできないが、必要に応じて活用することができる。	教員や学生同士、図書館や各種サポート機関、学生GPなどの制度等、大学に関する様々な社会資源の存在やその機能を正確に理解することはできないが、活用することはできる。	教員や学生同士、図書館や各種サポート機関、学生GPなどの制度等、大学に関する様々な社会資源の存在やその機能が十分に理解できず、活用することが難しい。
	実習に関する意識形成	各種実習に必要な理論及び技術を十分理解し、自己の目標を達成できるよう、意欲的に取り組むことができる。	各種実習に必要な理論及び技術を理解し、自己の目標を達成できるよう、取り組むことができる。	各種実習に必要な理論及び技術を理解し、自己の目標を達成できるよう取り組むことがやや難しい。	各種実習に必要な理論及び技術を理解し、自己の目標を達成できるよう取り組むことが難しい。
保育者としての基本的な姿勢	協調性	全員で協力して取り組めるような雰囲気作りに努め、率先して取り組むことができる。	必要に応じて、身近な仲間以外にも協力する態度を示し、全体の中で自己の役割を果たすことができる。	集団活動の意義をあまり見出せず、身近な仲間にも協力的な態度を示す。	集団活動の意義を見出せず、個人活動に終始する。
	企画力や計画性	子どもや保護者が安心して過ごせるよう、次の項目すべてを満たしている。 ・目標に対して、効率的に作業が進むよう計画を立てることができる。 ・より良いものになるよう、必要に応じて修正することができる。 ・期日を遵守することができる。	子どもや保護者が安心して過ごせるよう、次の項目のうち、2つを満たしている。 ・目標に対して、効率的に作業が進むように計画を立てることができる。 ・より良いものになるよう、必要に応じて修正することができる。 ・期日を遵守することができる。	子どもや保護者が安心して過ごせるよう、次の項目のうち1つを満たしている。 ・目標に対して、効率的に作業が進むように計画を立てる。 ・より良いものになるよう、必要に応じて修正することができる。 ・期日を遵守することができる。	子どもや保護者が安心して過ごせるよう、次の項目を満たすことが難しく、努力を要する。 ・目標に対して、効率的に作業が進むように計画を立てる。 ・より良いものになるよう、必要に応じて修正することができる。 ・期日を遵守することができる。
	企画運営力実践力	他者と協働して、より良いものになるよう、積極的に作業に参加することができる。	他者と協働して、より良いものになるよう作業に参加することができる。	自己の役割に対する責任感を持っており、与えられた作業は、概ねこなして参加することができる。	自分の役割に対する責任感を持ってず、関心を持って作業に参加することが難しい。
	子育て家庭との関わり	子どもや保護者が安心して過ごせるよう、次の項目すべてを満たしている。 ・適切な環境構成(安全面など)を意識することができる。 ・常に笑顔を意識して関わるができる。 ・丁寧な言葉遣いで関わるができる。 ・子どもや保護者と積極的に関わるができる。	子どもや保護者が安心して過ごせるよう、次の項目のうち、3つを満たしている。 ・適切な環境構成(安全面など)を意識することができる。 ・常に笑顔を意識して関わるができる。 ・丁寧な言葉遣いで関わるができる。 ・子どもや保護者と積極的に関わるができる。	子どもや保護者が安心して過ごせるよう、次の項目のうち、1つまたは2つを満たしている。 ・適切な環境構成(安全面など)を意識することができる。 ・常に笑顔を意識して関わるができる。 ・丁寧な言葉遣いで関わるができる。 ・子どもや保護者と積極的に関わるができる。	子どもや保護者が安心して過ごせるための次の項目を満たすことが難しく、努力を要する。 ・適切な環境構成(安全面など)を意識することができる。 ・常に笑顔を意識して関わるができる。 ・丁寧な言葉遣いで関わるができる。 ・子どもや保護者と積極的に関わるができる。
態度・志向性	授業内参加	授業内容や授業内の議論に関心を持ち、他者に意見を伝えるなど、積極的に参加している。	授業内容や授業内の議論に関心を持ち、求められると自分の意見を伝えるなど、概ね積極的に参加している。	授業内容や授業内の議論に対して関心が低く、やや消極的である。	授業内容や授業内の議論に対して関心が見られず、消極的である。
	自己成長感の芽生え活動への意味づけ	一連の授業内活動を通して自己の成長を実感し、保育者としての自覚を十分に持つことができる。	一連の授業内活動を通して自己の成長を実感し、保育者としての自覚を持つことができる。	一連の授業内活動を通して自己の成長をあまり実感できず、保育者としての自覚を持つことがやや難しい。	一連の授業内活動を通して自己の成長を実感できず、保育者としての自覚を持つことが難しい。
	ふりかえり自己評価	授業後に省察を行い、自己課題を明確に述べるができる。	授業後に省察を行い、自己課題を述べることができる。	授業後に省察を行うことはできるが、自己課題を述べることはやや難しい。	授業後に省察を行うことが難しく、自己課題を述べることまでには至らない。